

平成27年2月9日

「人と環境に優しい鉄道」を目指して  
**「3030編成（8両）」**  
**2月9日（月）営業運転開始**

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生)では、新造車両である3030編成(8両)の営業運転を平成27年2月9日より開始いたしました。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、平成15年から導入している3000形車両です。

車両の軽量化等による使用電力の削減、冷房装置・制御装置・補助電源装置にオゾン層を破壊しない冷媒の採用、全車両の車内照明にLEDの採用等、環境保全に配慮するとともに、平成22年よりバリアフリーに配慮し、LCD(液晶)の車内案内表示器を採用しています。また、今年度導入する編成では、快適な車内環境を提供するため、紫外線を遮るUVカットガラスを採用しました。

なお、3月下旬には、さらに1編成、新造車両3029編成が営業運転開始の予定です。



2月9日(月) より営業運転を開始した3030編成